

日本文化政策学会会員企画
「文化継承とジェンダー」

2022年、元舞妓さんのツイートが話題になった。未成年者である舞妓さんが飲酒の強要や客との入浴を迫られ、人権よりも伝統を守ることが優先される実態が明らかとなった。歴史的あるいは文化的な背景とした、自分のルーツに対する誇りやアイデンティティの尊重は、文化政策において最大の目的である。ただし、「伝統」や「文化」の保存や継承が、時として「その人がその人らしい生き方」を意味する人権の保障と相容れない状況が生まれる。そのうちの 하나가、冒頭に掲げた舞妓さんの告発に見られる、伝統文化とジェンダーの間の齟齬だ。

文化の継承とは、現代社会の人権意識とかけ離れていても、その形式が引き継がれることに意味を持つのか。あるいは現代社会の人権意識などの社会規範に沿うように、形を変えながら文化は継承されるべきなのか。変化を前提とするならば、その変化は誰によって引き起こされ、誰が受容し、担い手となるのか。他方で、社会に適合するよう形を変えた文化は、その本質的価値まで変わってしまうのか。変化を前提とした場合、文化の継承や保護の制度は、どうあるべきなのか。以上のような様々なフェーズの課題が山積しているが、これまで文化政策研究は、文化の継承や保護におけるジェンダーの問題と正面から向き合ってきたとは必ずしも言えない。

高千穂神楽では近年、女性が新たな文化の担い手となりうるのか、模索が続いている。本フォーラムでは、先ずこの事例を踏まえながら、文化の保存や継承とジェンダーの間に横たわる“溝”の今を詳らかにしてみたい。その上で、文化の保存や継承のその先にある、「その人がその人らしい生き方」と、それを支える政策のあり方を登壇者のみならず、参加者全員で議論してみたい。

① 録画配信研究会（課題提起）@YouTube

期 日 : 2023年10月11日（水）～年内

発表者 : 森千鶴子（フリーライター・地域コーディネーター）

討論者 : 中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院未来共生デザイン部門教授）
土屋正臣（城西大学現代政策学部准教授）

司 会 : 土屋正臣

定 員 : 20名（先着順）

参加費 : 学会会員は無料。非会員は500円。

申込先 : <https://forms.gle/3E5mcLN6EbWRiaeCA>

申込期限 : 10月10日まで

※お申込みいただいた方にメールにて、ユーチューブのアドレスをお伝えいたします。

② 視察

期 日 : 2023年11月3日・4日@高千穂町

視察対象 : 高千穂さと神楽保存会（中畑神楽における女性神楽）メンバー（師匠さんと、女性会員）への聞き取りと意見交換

現地案内 : 森千鶴子

定 員 : 10名（先着順）

参加費 : 学会会員は無料。非会員は500円。ただし、宿泊費・現地での移動費1人15,000円（集合場所ま

での交通費含まず・現地支払い) は自己負担となります。

申込先 : <https://forms.gle/1dkktDYKhjFbquqN6>

申込期限 : 10月6日まで

※集合場所・集合時間の詳細は、参加者に別途お伝えします。

③ オンライン研究会 (まとめ) @ZOOM

期 日 : 2023年12月3日(日) 13時30分~15時30分

報告者 : 視察参加者 1~2名

討論者 : 視察参加者、森千鶴子、中村美亜、土屋正臣、研究会参加者

司 会 : 土屋正臣

定 員 : 20名 (先着順)

参加費 : 学会会員は無料。非会員は500円。

申込先 : <https://forms.gle/HejLHVUE5PM67Tmc6>

申込期限 : 11月30日まで

※お申込みいただいた方に、メールにて ZOOM のアドレスをお送りいたします。

問い合わせ先 : 土屋正臣 masaomi1 アット (「@」に修正願います) josai.ac.jp